《 九州大学病院の理念 》

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

《 基本方針 》

1 高度医療の提供と研究開発の推進
2 より高い医療安全の追求
3 地域医療への貢献
4 情報技術を基盤にした国際化の推進
5 全人的医療を実践する医療人の養成

安全性に裏付けられた先端医療を実践していく

COVID-19への今後の対応と機動性の高い病院としての体制構築

2023年度に入り、福岡県下におけるCOVID-19の感染者数並びに当院への入院患者数は減少し、以前と比較して軽症化の傾向も見られます。

5月8日には5類感染症へ移行となり隔離や行動制限は撤廃され、当院でもこれまで実施してきた入院前及び手術前のスクリーニング検査やPCR検査を中止し、移植手術や血液疾患のある患者等に対して抗原検査を行う対応へと変更しています。感染者数が減少しているとはいえ、院内での感染拡大防止のための消毒やマスク着用等の取り組みは継続していきます。

COVID-19パンデミックを経て、危機的状況になった場合には、地域の危機を克服するために全力を挙げて最大の医療を提供する役割を果たさなければならないということを、全職員が認識したと感じています。

次にパンデミックが起こり危機的状況になった場合には、タスクフォースを立ち上げ、そこでの決定を元に全部署が有機的に動く機動性の高い病院として迅速に対応できると考えています。

高度医療拠点として開発だけでなく支援体制も整えていく

昨年は、ヒトパピローマウイルス感染症地域ブロック拠点病院の指定、3年振りとなる「初期・後期臨床研修プログラム説明会」の開催、多職種・複数診療科から成る糖尿病診療支援センターの設立、患者に分かりやすい医療提供を目的とした外科の再編等も行ってまいりました。

地域のリーディングホスピタルとして高度医療拠点の役割を果たすため、臨床研究支援体制の充実、高度先進医療及び先端的医療技術の開発、医療分野を先導し、中核となって活躍できる医療人を養成する教育システムの改善と充実、多職種連携によるチーム医療、そして国際医療連携による国際貢献を実現していきます。さらに、医療提供体制の整備、医療安全管理の強化、地域における医療連携の推進、そして質の高い安全で安心な医療の提供に取り組んでまいります。これらを着実に遂行していくことが、地域のリーディングホスピタルの役割を果たすことに繋がると考えております。

関連医療機関との連携を強化安心安全な医療の提供

関連医療機関との関係性を改めて強固なものにするため、令和2年度に終了していた九州大学病院連携医療機関登録制度を一新し、九州大学病院連携機関登録制度として再スタートすることにいたしました。

当院から発行する登録証を連携機関の院内で掲示し、九州大学病院と密接に連携して診療を行っていることを

病院長 中村 雅史
Director, Masafumi Nakamura

一般の方々にも認知していただくことで、地域住民に安心して医療を受けていただけるようになります。

DXによる病院機能の充実
新たな精密医療のモデルを提案

診療サポート機能の強化のため、院内にデジタルサイネージを設置して速やかな情報提供の仕組みを整え、1月からは「LifeMark-コンシェルジュ」という患者アプリを導入いたしました。このアプリでは、予約確認や診察順の通知はもちろん、事前にクレジットカードの登録をしておけば、アプリから決済ができるようになっています。会計での待ち時間が解消され、多くの患者にとって大幅な負担減となりました。5月末の時点ですでに登録者数は4千人を超えており、大変好評をいただいております。

癒しの空間・別府病院
2024年3月の開院予定

本院は全方向に対して強い専門領域を持っていますが、別府病院は本院のサテライト病院として、内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科の6診療科、そして地域から強い要望があった婦人科を新設して、これらを軸に診療を展開していきます。病床数120床に加え、手術室の拡充と病棟での個室の充実、外来化学療法室の増室などを予定しております。

築50年の老朽化した建物をただ単に建て替えるだけではなく、人の心の在り方が病気の治癒にも影響を及ぼすことを考慮し、風光明媚な場所にある地の利を活かして、「別府湾を一望できる癒しの空間」をコンセプトに建設をしております。現在、来年3月の開院に向けて準備は滞りなく進められています。

これからの九州大学病院
良い医療提供のための職場環境整備

世界をリードする先端医療の実施を継続しつつ、「最先端でありながらも安全である」という当院の強みと職員の対応の良さを伸ばしていきたいと考えております。

また、パンデミックや自然災害による危機的状況が発生した場合に、持っている医療資源を駆使して地域を支えられる病院を目指してまいります。

その実現のためにも、病院職員がやりがいを持って働けるよう、働き方改革も推進していきます。例えば、医師の勤務時間を厳密に管理するためのシステム「Dr.JOY」を本格導入し、医師それぞれの勤務の実情に合わせた勤怠管理が行えるよう改善を進めています。

「患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する」という理念の元、職員一丸となってよりよい九州大学病院を目指します。